

リーディング ver.

# 多沢永吉、その愛。

Eikichi TAZAWA and his love.

for Stage Reading.

作／上岡久美子

Kumiko Ueoka

2020年10月3日、JMS アステールプラザ（広島市）川側入口にて屋外上演

【場面設定】

東日本大震災後の福島県からコロナの時代の静岡県は熱海まで。海辺のワインディングロードを走るトラック野郎の物語。

【登場人物】

多沢永吉（大型トラックドライバー48歳）

よしこちゃん（永吉の元妻、享年39歳）

多沢多美子（永吉の母70歳）

ウィキさん（出典：Wikipedia）

崖っぷちの女（崖っぷちの30歳）

ト書き（ト書きの読み手）

彼氏 ※永吉と同じ役者

浮気相手 ※よしこちゃんと同じ役者

上司 ※ウィキさんと同じ役者

春彦くん（20代前半？） ※舞台に登場せず。

<注記>

- ・ 本編は屋外でのリーディング公演を前提として構成されている。
- ・ 「ト書きの読み手」以外のト書き（ゴチック）は、役者の動きで表現する。
- ・ ト書き（ゴチック）も「ト書きの読み手」が読んでもOK。
- ・ 本編のリーディングバージョンをお芝居用の台本に再構成してもOK。
- ・ SEは役者の声で表現する。（例：バタン！ ガチャ。etc.）

椅子が数脚設置してある舞台。

よしちゃん、ひとり川の方向を見ている。

手にはピーターラビットのぬいぐるみが。

いつの間にか舞台上には多沢永吉にいて、よしちゃんを眺めている。

よしちゃん、ぬいぐるみを椅子のひとつに置いて退場。

永吉、ピーターラビットのぬいぐるみを手に取って椅子のひとつに座らせ、その横に座る。

ウィキさん登場。なんかウキウキしている。

**ウィキ** (ソーシャルディスタンスの客席に向かって) こんにちは!・・・こんにちはー!・・・あ (アステールプラザの担当さんの顔を見て)。大きな声は出さないという約束だったっけ・・・ウィキさんったらドジ (自分のおでこを軽く叩く)。皆さん、こんにちは。わたしはウィキさんといいます。みんなの強い味方、インターネット百科事典の Wikipedia から名前を拝借しました。わたしは今から始まる物語のガイド役みたいなもの? みなさんがよく分からない言葉や、このお話の主人公のこちらの多沢永吉さん・・・みなさんが思ってるあのひとではないですよー・・・この永吉さんの職業である長距離トラックドライバーが使う隠語、スラングを易しく解説いたします。出典は Wikipedia。ありがとう! ウェブ時代のエンサイクロペディア～ (退場)

**ト書き** 永吉、大型トラックを運転している。いい感じでドライブウェイを走っている。永吉、無線をオンエアにする。

**永吉** こちらポパイ、オリーブ、オリーブ応答せよ。・・・(無線の雑音)・・・春彦くん? いるう? おーい、(無線応答する音) お、春彦くん。こちら永吉、現在熱海向かってベタ走行中。まるまるだよー。お二階さんは金太郎あたりでガッチャマン発生、墜落してさー。パンダ規制でガチ QR 中なんで下オススメだよー。春彦くん今どこ? あ、センター乗ってんだ。山梨立ち便? デラックス? おお、マル。ご安全に!

ウィキさん登場。

**ウィキ** 今のトラックドライバー無線のやり取りを通訳しますとこうなります。(スマホでエルガー「愛の挨拶」をかけて♪)「無線名ポパイの永吉です。無線名オリーブの春彦さんおられますか? 今わたしは、熱海に向かって海岸沿いの一般道路を安全運転しています。東名高速道路は足柄サービスエリア付近で事故が発生したので、こちらに降りて参りました。高速は今、パトカーが交通規制して渋滞がひどいので一般道路を走行するのがオススメ致しますよ。春彦さんは今、どこにいらっしゃいますか? ああ、山梨の営業所に荷物を持っていくため中央自動車道を長距離走行中なんですね。了解しました。安全運転発車オーライ!」

ウィキさん、スマホの音楽をフェードアウトさせつつウキウキしながら退場。

**永吉** いやー、この前の千葉、2軒目のキャバクラでバックレて・・・ほんっと！ごめんね～ごめんねー♪・・・何言ってんだよ春彦くん。そんなんじゃないって。・・・みんなでね、帰り便の後、スープ行こうって言った約束覚えてるよ？ でも、あの日金なかったんだよ。違う違うホントホント、スープ大好きだよ、行きたかったよ～。スープ。

**ト書き** 無線、なんか言っている。

**永吉** ・・・嫌いじゃないけどさー。・・・スープ行きたいけどさー、みんなと一緒にいったら楽しさ倍増みんな大好きスープランド、ランディングウ～（笑う）でもでも、春彦くん、分かってるでしょ？ よしこちゃんのために操守ってんの！！（笑う）

**ト書き** 無線、なんか言っている。

**永吉** 嫌で別れた仲じゃないからなー、男多沢永吉、一世一大の恋だったから。恋女房なんだから。また、よしこちゃんと所帯を持てるよう、こうやってトラックドライバーで金稼いでんじゃん。だから、スープに金溶かす余裕ないの！！行きてえけどよ！！（爆笑）

**ト書き** 無線、なんか言っている。

**永吉** 地震ん時の見舞金ぶっこんでこの10トンアルミバン新車で買ったんだ。大型の免許取って一人親方ドライバーになって、日本全国どこでも荷物運んでやるよっつってよ！ 金稼いで福島にまた家建てるんだ。よしこちゃんと俺の。・・・それまで安全運転がんばらねばな！春彦！！ 待ってるよ！よしこちゃ～～～ん♥

**多美子** （携帯電話を持ち電話をかける）プルルルル・・・プルルルル・・・プルルル・・・

**永吉** お、有線だ。春彦、一瞬トンカチな。

永吉、無線通話を切り、BluetoothイヤホンをONにしてスマホ通話に切り替える。  
ここでウィキさん登場。

**ウィキ** お話の途中ですが、ここでウィキさんの解説。先ほど永吉さんが言った「有線」とは固定電話のこと。トラックに常備されている無線に対して線がある家電話を指しています。携帯電話が主流になった今ではもう実態に合っていない言葉かもしれませんね。うん。

**永吉** はい。

**多美子** ふふ・・・あ、た、し。

**永吉** 母ちゃん。

**多美子** 世の中コロナコロナでコロコロしてやがる。大丈夫かおめ。

**永吉** ふん、コロナだろうがなんだろうが俺はこの運転席で自主隔離状態だ。関係ねえ。

**多美子** 走ってんのか。どこにいんだおめ。

**永吉** 神奈川？ あん？ もう静岡か。西に向かっている。

**多美子** お、永ちゃんと反対方向だな。東京でビッグになるために広島で夜行列車に乗って東に向かった。

**永吉** また矢沢永吉の話かよ。

**多美子** 思い出すなー1973年伝説のキャロル横浜ライブ。永ちゃん、ギラギラしてかっこよかったなー。君はファンキーモンキーベイビー！だっぺ。母ちゃん興奮しまくってな、たまたま隣にいた男と連れ込み宿入って生でやっちまってよー（ケラケラ）

**永吉** おい！息子に言うんじゃないぞ！

**多美子** それがおめの父ちゃんだ。

**永吉** 多沢永吉・・・冗談みたいな名前つけやがって。初対面で笑われなかったためしがねえ。

**多美子** いい名前じゃねえか。永ちゃんと一字違いだ。朝起きて父ちゃんの苗字が多沢だと知った時、こん男と結婚するしかねえ、って思ったね。

**永吉** 用ねえんなら切るぞ。

**多美子** 用あっぺ。・・・おめに話しとかならんことがあってな。・・・あのな、永吉、落ち着いて聞けよ。

**永吉** ・・・うん。

**多美子** （深刻そうに）この前な、タモリに会ったんだよ。

**永吉** ・・・それ？

**多美子** それっておめ笑っていいともだぞ。

**永吉** まあ、そうだけど。

**多美子** お昼休みはウキウキオッチングだ。

**永吉** で？ タモリがどうしたんだ。

**多美子** タモリがな？ ほら金曜の夜やってる旅番組。あれで南相馬に来たんだ。で、光江さんの旦那がふくしまテレビのおえらいだったんで、タモリがテレビ局立ち寄る時間教えてくれてな、見れたんだよ生タモリ。・・・ん？ 生・・・

**永吉** いいから続けろ。

**多美子** テレビ局ってすげえな。芸能人いっぺえいてよ。ほんでタレントのママにも会ったんだ。

**永吉** テレビ局でタレントのママ・・・安達祐実の母親でもいたのかよ。

**多美子** 何言ってるんだおめ（笑う）タレントだよ、タ、レン、ト！もう忘れたのかよ、あんなに通っていたのによ。

**永吉** うん？・・・ああ、タレントのことか。

**ウィキ** ここでちょっと補足を。（「多恋人」という文字を見せて）今、2人が話しているのは永吉と多美子の地元の寂れた繁華街にある「スナック多恋人（タレント）」のことなんですわー。日本全国にたくさんあるスナックの名前だそうですよ。（「来夢来人」という文字を見せ）こう書いてライムライトと読むスナックも多数点在します。ちなみに私はお酒はぬるめの爛がいいですね♪

**永吉** 多恋人のママ、麗佳さん元気だったか？

**多美子** ああ、来年80歳になるってよ。まだスナックやっててな、最近20歳年下の新しい彼氏ができたってよ。

**永吉** すげえな。80でまだ男とイチャイチャしてんのかよ。

**多美子** 女は灰になるまで…つーからな。その麗佳さんが言ってたんだけどな・・・よしこちゃん。

**永吉** ……は？

**多美子** 亡くなったって。

間。

**多美子** 永吉？

**永吉** いつ!!!

**多美子** 大きな声出すんじゃないよ！鼓膜破れるかと思った。

**永吉** え?! は??!!

**多美子** 車停めろ永吉。

**永吉** よしこちゃんが死ぬわけねえよ！あのエロババア、ボケ入ってるんだよボケ!!

**多美子** 路肩に車止めろ！永吉！

**ト書き** 永吉、海岸沿いの国道脇にトラックを停める。日本有数の温泉地、熱海。下は断崖絶壁というロケーション。

**多美子** ……よしこちゃんのお母さんから連絡あったそうだよ。浪江のおめらの家で亡くなったと。

**永吉** (独白) あの家で死んだんだ。あの家に戻ってたんだ。

**多美子** 麗佳さん、家族葬に呼ばれたそうだよ。キレイなお顔してたって。

**永吉** まだ39歳だぞ。・・・どうして死んだんだ。

**多美子** 知らねえよ。

**永吉** なんで知らねえんだよ、おかしいだろ?! なんで80歳のヤリマンが生きてて、よしこちゃんが死ぬんだよ!

**多美子** 永吉、言い過ぎだ。

**永吉** なんで死んだんだよ。よしこちゃん・・・

**多美子** 病気だ、急な病だ。

**永吉** ……いつ死んだんだ。

**多美子** 麗佳さんは七夕って言ってたな。

**永吉** ……七夕。

**多美子** ああ、7月7日だ。

**永吉** 7月7日・・・

よしこちゃん、椅子の上に立つ。

**よしこ** (手を振りながら) 永吉さーん！永吉さんが絶対忘れない日にしよう！離れ離れになってもまた天の川で会えるように～

**永吉** (独白) 七夕、7月7日は俺たちの結婚記念日。

よしこちゃん、前のめりになる。

**永吉** (独白) よしこちゃんが死んだ日を知って俺は全てを悟った。よしこちゃんは病気で死んだんじゃない。よしこちゃんは・・・

よしこちゃん、ギリギリまで持ちこたえて倒れ込むように椅子から降りる。

永吉、トラックのハンドルに顔を埋める。

**多美子** 永吉？ 永吉？

**永吉** ……おれのせいだ。

**多美子** おめのせいでねえ。うぬぼれんな。

間。

**多美子** 最初っから反対だったんだよ。

**永吉** は？

**多美子** おめがよ、麗華さんの店でホステスやってる子と結婚するって家に連れてきた時、若くてめんこい娘で、なんで金もねえ取柄もねえ、おらの息子なんか好きになったんだろと不思議だったよ。

**永吉** うるせえ。

**多美子** コブ付きだって聞いて納得したけどな。

**永吉** 母ちゃん！

**多美子** お互い合わねかったんだよ。だから離婚したんだ。

**永吉** なんで今、そんなこと言うんだよ。

**多美子** 他人だってことだ。

**永吉** よしこちゃんは他人じゃねえ、家族だ。

**多美子** いや違う、他人だ。家族じゃねえ。他人が死んだんだ。・・・そう思うしかねえっしょ。永吉。ひとつふたつじゃなかったっぺ？ あんときの地震のよ、津波のよ、父ちゃんも！ ばあちゃんも！津波に流されていったっしょ？！ 岡田さんも、岡田さんのとこの孫も、小暮さんとこの旦那も嫁も、みんな、体育館にごろんと転がって。いっこにこのもんじゃなかったよ。ずらーあと仏さん並んで、母ちゃん、父ちゃん探すのに必死でよ、仏さんと仏さんの間歩いて何かに躓いて、向谷さんちのおじいちゃんの頭けつとばしたっしょ？ おめもいただろ、おらと一緒に見ただろ？ いっぺえあったよご遺体が、よしこちゃんもそのひとつだ、そう思うしかないっしょ？！ そうじゃないと、生き延びた人間が生きていかれねえ。おらも、おめも、生きていかなきゃなんねえだろ！！そうだろ？！永吉！！

**永吉** (独白) 分かってる。母ちゃんはまた自分の息子が生きる気力を失っていくのを見るのが怖いのだ。

**よしこ** (遠くで手を振りながら) 永吉さーん、永吉さーん。

**永吉** よしこちゃん・・・

ウィキさん登場。行進の号令を取っている。

**ウィキ** イチニ、イチニ、イチニ、サンシ、ぜんたーい、止まれ！イチニ！

登場人物みんな止まる。

**ウィキ** いつも心にソーシャルディスタンスを～・・・イチニ！ 整列！

登場人物みんなソーシャルディスタンスを保ち整列。

**ト書き** 場面変わって東京。若い女登場。仮に崖っぷちの女と名付けておく。

登場人物みんなが順番に崖っぷちの女と対峙して圧を加えていく。

**崖っぷちの女** 今日、職場でいきなり・・・

**上司** (書類を差し出し) はい、解雇通告。

**崖っぷちの女** え？ なんで。

**上司** コロナだから。

**ト書き** とぼとぼ歩く崖っぷちの女。自宅のドアを開けると・・・

**崖っぷちの女** ただいま・・・え？

**ト書き** 同棲中の彼氏が知らない女と抱き合っているではないか。しかも自分たちのベッドで。

\*\*\* 同時に \*\*\*

**彼氏** なに、お前何でいんの？ え？ マジかー (ケラケラ笑う)

**浮気相手** ゆうくん、誰これ～

\*\*\* 同時に \*\*\*

**崖っぷちの女** え？ この人誰？なんで抱き合ってるの？

**彼氏** え？ (笑う) そりゃお前あれだよコロナだから (ヘラヘラ)

**崖っぷちの女** 何それ・・・



**浮気相手** ちょっとなんなのよーアンタ、出てきなさいよ～

**彼氏** まあまあまあ・・・(ヘラヘラ)

**崖っぷちの女** いや、ここ、わたしんち、

**浮気相手** もう！コロナなんだからね？！（激オコ）

**崖っぷちの女** 仕事、男、住居、ぜんぶ失った・・・ぜんぶコロナのせい・・・

**ト書き** 崖っぷちの女、どこかへ向かっている。

**崖っぷちの女** 2020年、東京は限界ギリギリだった。財布の中身も・・・やっぱ。マジ崖っぷちじゃん・・・崖？ 崖っぷち、崖っぷち・・・

ウィキさん、登場。崖っぷちの女にテクマクマヤコン的な魔法をかける。

**ウィキ** ワーーーープっ！

**ト書き** 崖っぷちの女、ワープして熱海の海岸通り沿いにある崖っぷちに立つ。

**崖っぷちの女** うお！（倒れそうになる）え？（下を見る）崖—————！！ 高っ！ 怖っ！ 波、すごっ！ ザッパーーーーン！！ さすが東洋きってのリゾート地、熱海～～、でっかいどーーーー！ 太平洋～！！・・・それ、北海道じゃん。何言ってるのだろアタシ・・・

**彼氏・浮気相手** (SE) バーーーーー、バーーーー・・・(ずっと続ける)

**ト書き** バーーーー、バーーーー、と長距離トラックが長いクラクションを鳴らして走り去っていく。

**崖っぷちの女** うるさーーーー！！なんなのよ？！コロナのせい？？！！

バーーーー、バーーーー、ほんとうるさい音。

**崖っぷちの女** バカにして、みんなであたしをバカにして・・・あったまきた。静かなところに行こ。

バーーーー、バーーーー音フェードアウト。

崖っぷちの女、ふらふらと歩く。

**永吉** ...なんでだよ...くっそお...ちくしょう...

**多美子** またイイ子見つけたらいいっぺ。

**永吉** ...

**多美子** ちゃんと働いてっぺ？誰にも雇われてない一国一城の主だ。社長さんだ。

**永吉** ただの一人親方じゃねえか。

**多美子** 母ちゃんがよ、福島でイイ子見つけてやっからよ、こっち戻って所帯持ったらいいっしょ。

**永吉** いい加減にしてくれよ母ちゃん！俺はよしこちゃんを・・・

**ト書き** 永吉の目の前をフラフラ横切る崖っぶちの女、まさに崖っぶちを歩いている。

**永吉** なんだ、この女、なんでこんなところを一人で歩いているんだ・・・おいおい、国道外れてくよ・・・

**多美子** 永吉？

**永吉** どこ行くんだ？ 展望台？ 断崖絶壁・・・あそこは・・・自殺の名所！

**多美子** 自殺？！ 永吉！！ 早まるな！！ 永吉～～～（絶叫）

**永吉** （トラックのサイドブレーキをかけてトラックから出る一連の動作&口頭でSEをしながら）俺は、もういやなんだ、俺はもう二度と・・・

**ト書き** 永吉、女を射程距離に捉える。二人、ソーシャルディスタンスな距離で対峙する。

**崖っぶちの女** （独白）国道から脇にそれた自然道に入ろうとすると、路肩に止まっていたドでかいトラックから熊のような男がおりてきた。

**永吉** おい、女。

**崖っぶちの女** え？（後ろをキョロキョロ見て）わたし？・・・近づいてくる・・・

**ト書き** 永吉、怒りに満ちた顔で崖っぶちの女に近づく。

**崖っぶちの女** 殺される・・・犯される・・・犯された上で殺される！！

**ト書き** 崖っぶちの女、展望台、つまり太平洋を望む岸壁に向かって逃げる。

**永吉** お、逃げやがった、間違いない、ホンモンだぜ。おいおいおいおいおい、向こう行ったら断崖絶壁だぜ、ちょっと待て待て（自分の服を探して）スマホスマホ、命の電話・・・くっそ！ババアとしゃべってたから車ん中だぜ！！（崖っぶちの女に）おい！おい、待て！

**ト書き** 永吉、崖っぶちの女を追いかける。崖っぶちの女逃げる。二人、フェイントをかけ合いながら崖っぶちに向かって追いかけてこ。

**永吉** おい！待て、こら！！そっち行くな、戻ってこい！！うおおおおおおおお！！

**崖っぶちの女** 何？ なんて？ ストーカー？ レイプ魔？ 変態？ 熊？（後ろ振り向く）まだ来てる！！ 次から次へとなんでこんな目に遭ってんのよわたし、ぜんぶコロナが悪い！ コロナのば

かーー！！！！

**ト書き** ついに永吉、崖っぷちの女を崖に追い詰める。火曜サスペンスのクライマックスのようなロケーション（ウィキさん、火曜サスペンスのCM前のSEチャチャチャー、チャチャー♪で割り込み。相変わらずウキウキしてる）。永吉、じりじりと距離を詰める。崖っぷちの女、背後で小石が転がり落ちる音を聞く。永吉、一步踏み出す。

**崖っぷちの女** 来ないで！！

**ト書き** 永吉、一步下がる。

**崖っぷちの女** なんなんですか？ なんなんですか？！

**永吉** なんなんですかって、そりゃこっちのセリフだ！！（前に出ようとする）

**崖っぷちの女** 来ないで！！ それ以上近寄ったらわたし・・・（崖の下を指さし）こ、こ、ここから飛び降ります！！

**永吉** おい、落ち着け・・・落ち着くんだ・・・（ゆっくり近づく）

**崖っぷちの女** 話通じてる？ 来るなって言ってるのに・・・（後ずさる）

**永吉** （手を差し伸べて）さ、ほら、

**崖っぷちの女**（恐怖で錯乱気味に）わたし崖っぷちなんです！！

間。

**永吉** ああ、あんたの言う通りだ。今まさにあんたは確かに崖っぷちにいる。

**崖っぷちの女** やっぱりわたしって崖っぷちなんだ（愕然）

**永吉** 自分が言ったんじゃないかよ崖っぷちだって（啞然）

**崖っぷちの女** おえ・・・（思わず吐きそうになる）

**永吉** おい！

**崖っぷちの女**（頭抱えて）もうダメだ・・・

**永吉** ダメじゃない！

**崖っぷちの女**・・・は？

**永吉** いや・・・ダメじゃないよ。そんなに若いのに・・・ダメじゃない。

**崖っぷちの女**（キレ気味に）なんで、分かるのよ。

**永吉** え？

**崖っぷちの女** なんで、あたしがダメじゃないって分かるのよ。そこで、その雑木林でわたしを追いかけてきただけの仲なのに。

**永吉**・・・それは・・・

**崖っぷちの女** 何も知らないくせに・・・。ダメじゃない？！あたしの、あたしの何が分かるの？何知ってるの？・・・ああもう、何言ってるんだろ、あたし。知らない人に・・・もうダメだ・・・自分

で言うてどうすんの・・・でも、ダメだ・・・がんばったのに・・・がんばってがんばってがんばったのに、がむしゃらにがんばったのに、なんにも変わらなかった、なんにも始まらなかった。

永吉、反射的に手を上げる。思考が崖っぷちから9年前の福島に飛ぶ。  
いつの間にか、ピーターラビットを持ったよしこちゃんがいる。

よしこ 何も変わらなかった。何も始まらなかった。

永吉 (独白) 俺は崖っぷちの女を目の前にして、もはや崖っぷちにはいなかった。俺とよしこちゃんとの風景を見ていたんだ。

ト書き 東日本大震災発生後、一年経った3・11フクシマ。

よしこ (ピーターラビットのぬいぐるみをなでる)

永吉 帰ろう。

よしこ ……

永吉 よしこちゃん、

よしこ 帰らない。

間。

永吉 俺、辛いんだよ。よしこちゃんがこんな線量の高い地域に居続けるのって……

よしこ ここはわたしの家。永吉さんの家じゃない。

永吉 ここは俺たちの家だよ、よしこちゃん。

よしこ この家にはあの子がいる。永吉さんはお義母さんのいる仮設住宅に戻ってあげて。お義母さんには永吉さんがいるけど、あの子はこんな冷たいところでひとりぼっち。ここからママがいなくなったらかわいそう。

永吉 今日は連れて帰る。

よしこ いや。

永吉 よしこちゃん。

よしこ お願いします。別れてください。

永吉 別れない。

よしこ 別れてください。

永吉 別れない。

よしこ 別れてください。

永吉 いやだ、絶対に別れない。

よしこ ……

永吉 また来るね。

よしこちゃん、ピーターラビットをなでる。  
永吉、後ろ髪をひかれつつ去る。

また永吉、現れる。  
よしこちゃん、ぼんやりとへたり込んでいる。  
傍らにはピーターラビット。もうなでてはいない。

**ト書き** 東日本大震災から三年経った3・11フクシマ。

**よしこ** 今日は3月11日。・・・命日だよ。

**永吉** ・・・

**よしこ** あれから何年経った？ 3年、4年？ あれから何が変わった？ 何も変わらなかった。何も始まらなかった。

間。

**永吉** (ピーターラビットを拾い上げ) 俺たちの子どもだ。

**よしこ** (ピーターラビットを奪い返し) 永吉さんの子どもじゃない。

**永吉** 本当に自分の子どものように思ってたんだ。

**よしこ** 嘘よ。

**永吉** 嘘じゃない。信じてくれ。

**よしこ** 信じてくれ？・・・信じてくれ、信じてくれってあの時も言ってたよね？

**永吉** よしこちゃん・・・

**よしこ** わたし、言ったよ？ あの子のいる幼稚園迎えに行こうって。そしたら、永吉さん、スマレ先生が子どもたち守ってくれるから大丈夫だって、わたし、行こうって言ったじゃん・・・永吉さん、車停めてくれなかった。わたし、1人で行くって言ったのに・・・信じてくれ、大丈夫だって。

**永吉** ・・・

**よしこ** 大丈夫じゃなかったじゃん！！・・・死んだじゃん！ 幼稚園ごと津波に巻き込まれて死んだじゃん！！

**永吉** ・・・

**よしこ** (ピーターラビットを抱きしめ) ごめんねえ、ごめんねえ、守ってあげられなくてごめんねえ・・・

**永吉** よしこちゃん・・・俺は・・・

**よしこ** 永吉さんの顔見る度、思い出すのが辛い。この人は、あの時車停めてくれなかったんだって・・・それが本当に辛い・・・

**永吉** 俺も・・・辛いんだ。

**よしこ** ・・・辛い？・・・辛いって意味分かってる？

**永吉** よしこちゃんと一緒にになって短い間だったけどあの子の父親として、

**よしこ** 子持ちの女と結婚していい気分だったでしょ?! 「哀れな女を子どもごと拾ってやった」って得意になってたでしょ?! そうやって簡単に拾い上げるから簡単に見捨てることができるのよ!!

永吉、よしこちゃんに手を上げる。

**永吉** (独白) 初めて、女に手を上げた。

**よしこ** 殴っていいよ。

**永吉** (手を上げたまま独白) こんなことしたいんじゃないかって、俺は、俺は、この人を、この人のすべてを・・・

永吉、よしこの頬を張る。

パチンという乾いた音が鳴る。

**永吉** 別れてやるよ。

**よしこ** ありがとうございます。

**永吉** でも条件がある。この家から離れて、ここ以外のどこかに住んでくれ・・・

**よしこ** ...約束する。出て行く。どこか仮設に住む。

**永吉** あと(ピーターラビットをよしこちゃんから取り上げ)これは持って行く。これは・・・これは・・・俺とよしこちゃんが必ずまた会うための・・・人質・・・ぬいぐるみ質だ!

**よしこ** (笑う)・・・あげる。大切にしてくね。

**永吉** ...

**よしこ** さよなら。永吉さん。

永吉、よしこちゃんを置いて出て行く。

よしこちゃんと崖っぷちの女が入れ替わる。

永吉の意識、崖っぷちに戻る。

**永吉** あの時、どうすればよかったんだろう。

**崖っぷちの女** え? 泣いてる?

**永吉** 好きで好きでしょうがなかったのに、守りたかったのに。なんで抱きしめることができなかったんだろう・・・俺は・・・この手で(自分の手を見て拳を握りしめる)・・・畜生!ちくしょう!ちくしょう!!

**崖っぷちの女** ちょっと・・・(オロオロ)

**永吉** よしこちゃん、どこに迎えにいけばいいんだよ! 七夕にいなくなるなんてよ、織姫と彦星じゃなかったのかよ俺たちは。

**崖っぷちの女** あのお・・・

**永吉** おい!女!

**崖っぷちの女** はい!

**永吉** 崖っぷちの女、よく聞け！ 俺はな、もう二度と見たくないんだよ！ 俺の周りで人が死んでいくのは！

**崖っぷちの女** え？ 死ぬの？ わたしが？？

**永吉** 福島で、震災で、津波で、たったひとりの息子を失ったんだ。まだ6歳だ。長男だったんだよ。パパパって纏わりついてさ、かわいい女房と子どもがいて、ああ俺はなんて幸せな男なんだと思ってた。・・・なのによー、俺のせいで息子は死んで、よしこちゃんは壊れていった。あー俺がずっと手を握っていたらよかったのかなあ？ 俺は、俺は、俺は、大切な人の手を・・・このクソみたいな手で放してしまったんだ。

**崖っぷちの女** クソってうか、熊？

**永吉** 息子はな、春彦って言うんだ。俺、毎日天国にいる春彦と通信しているんだ。春彦は20代の若い男になって、俺たちは仕事のこととか、女のこととか、べらべらべらべらしゃべってるんだ。無線で。電波飛ばしてない無線で！（笑う）トラックの運転席でバカみたいだろ？笑ってくれよ。笑えよ！

**崖っぷちの女** 笑ってはダメだ。今笑ったら殺される・・・

**永吉** 春彦が生きていたらなー、きっとこんな親子になってたんだろうなーって。血はつながってなかったけど、俺の息子だったんだ春彦は。

**崖っぷちの女** ・・・

**永吉** だから、生きていてくれよ！誰かが死んでいくのを見るのはもう嫌なんだよ。いいやつでも悪いヤツでも知ってるやつも知らないヤツも、頼むから死なないでくれよ～

**崖っぷちの女** 死にません！

**永吉** ・・・は？

**崖っぷちの女** 僕はしにましえん！！

**永吉** え、武田鉄矢？

ここでウィキさん登場。相変わらずウキウキしている。

BGMはもしかして笑点のテーマソング？パフパフ？

**ウィキ** はーい！ここでウィキさんから解説！この「僕はしにましえん！！」というのは1991年、7月から9月のフジテレビ月9ドラマとして放送された「101回目のプロポーズ」からのセリフです。武田鉄矢さん演じた冴えない男の逆シンデレラストoryとして人気を博し、最終回は36.7%の視聴率を叩き出しました。ダンプカーに牽かれそうになりながらも相手役の浅野温子さんに「僕はしにましえん！！」と博多訛りで叫ぶ姿は日本全国のお茶の間を感動の渦に巻き込みましたね。メディアが多様化した今、こんなふうにより一つのコンテンツに夢中になることは起こりにくいでしょうね～。はあ、懐かしやバブル末期の煌めき・・・以上、出典はWikipediaでした！

ウィキさんが指でピストルを作り「バキュン☆」と客席に発砲して、銃口に息を吹きかけて「てへ♪」という感じで退場するのを無表情で見送る永吉と崖っぷちの女。

**崖っぶちの女** なんか勘違いしてませんか？

**永吉** はい？

**崖っぶちの女** わたし、秘宝館目指して熱海に来たんです。

**永吉** 秘宝館・・・

ウィキさん、登場。もしかして「世界ふしぎ発見！」のテーマソング背負ってる？

**ウィキ** はいはい。ごつめんなさい！またまた登場、ウィキさんです！ 熱海秘宝館は、知る人ぞ知るセックスの殿堂、エロのテーマパークとして古今東西ありとあらゆる性愛に関するものが展示されている仰天ミュージアムなんですねー。日本屈指の温泉リゾートだった熱海は1950年代、若いカップルの新婚旅行のメッカでした。秘宝館の展示物を見てどきどきが高まり、初めての夜を迎える新婚さんたちのムード作りに一役買ったんでしょうね？！うふふ♥ 太平洋を望む八幡山の山頂にある秘宝館にはロープウェイを利用するのが便利です。目も眩むような高さの山頂で2人で絶頂！なんてね？（テヘペロ）出典はWikipediaでした～。

ウィキさん、去る。お疲れさまでした。

**崖っぶちの女** 東京で仕事、彼氏、家まで失って、財布の中のお金は残り僅か。コロナも怖いし・・・もう東京生活も潮時かな？と思って。あ、わたし、富士市出身なんで静岡は地元なんです。実家帰るついでに、ま、一度は行ってみようかと興味本位で秘宝館に・・・

**永吉** じゃあなんでこんなトラックしか通らねえ国道沿いをフラフラ歩いてたんだよ。

**崖っぶちの女** お金なくてここまでバス乗り継いで来ました。

**永吉** 東京からか。

**崖っぶちの女** はい、東京からです。

**ト書き** JRの方が安くて速いのに、なんて容量の悪い女だ、と心の中で呆れる永吉。

**崖っぶちの女** 小田原から路線バスに乗って、でもバス降りるところ間違えちゃって慌てて下車したところが断崖絶壁の国道沿いの道。タクシー乗るのもちょっと・・・こんなところで女ひとり、「秘宝館へ行ってください」だなんて・・・（苦笑）言えないですよ。

**永吉** ちょっと言えないな。

**崖っぶちの女** だから、歩いて行ってみようとフラフラと。横にトラックが何台も横を行き来してクラクション鳴らしてきて。うるさいから国道から自然道に逸れて歩いていたら目の前に停車した大きなトラックから熊が・・・

**永吉** ああん？

**崖っぶちの女** いえ、貴方様が・・・

**永吉** なんてか分かるか？

**崖っぶちの女** へ？



**永吉** なんで道端でクラクション鳴ったか分かるか？

**崖っぷちの女** 分かりません。

**永吉** アンタ、自殺志願者だと思われたんだよ。クラクションはな「死ぬなよー」「生きていこうぜー」  
「人生はまだまだ捨てたもんじゃないぞー」というメッセージを送っていたんだよ。

**崖っぷちの女** ……え……(うえーんと泣く)

**永吉** おい……

**崖っぷちの女** わたしみたいな女に知らない人が優しい気持ちをかけてくれてたなんて……

**永吉** 見たか～。トラック野郎は優しいんだよ。

**崖っぷちの女** 感動した！！

**永吉** え？小泉純一郎？

**ウィキ** はい、は～い……

ウィキさん、張り切って登場するも……

**ト書き** あ、ウィキさん、もういいからね～！ありがとう！お疲れ！！

ト書きの読み手によって強制的に退場させられるウィキさん。

**崖っぷちの女** (独白) 崖っぷちに海からすごい風がびゅうううううと吹いてきた。よろめいてバランスを崩し、崖の下をまともに見てしまった。

**崖っぷちの女** あ……(動けなくなる)

**永吉** どうした？

**崖っぷちの女** あまりの高さに足が竦んで……

**永吉** 動けないのか？

**崖っぷちの女** 僕は動けまじえん！！

ぷっと笑う永吉。

**永吉** ほらよ (崖っぷちの女に手を差し伸べる)

**崖っぷちの女** ……あ……すみません……(崖っぷちの女、手を伸ばす)

手をつなぐ二人。

**永吉** (手を握ったまま) 名前なんて言うんだ。

**崖っぷちの女** ……倉田春子って言います。

**永吉** 春子……春彦と似てるな。あとひと文字「ひ」があったら春彦だ。

**崖っぶちの女改め春子** ……あの、熊さんは……いえ、運転手さんはなんていう名前ですか？

**永吉** 永吉、多沢永吉。

間。

**春子** 多沢永吉さん。(ペコリンして) ありがとうございます。

**永吉** (独白) この女、笑わなかった……俺の名前聞いても笑わなかった……

**春子** あのお……多沢さん……？

**永吉** ん？ ああ……よっ (グイッと春子の手を引っ張る)

春子、永吉の胸のあたりまで引っ張られる。

永吉、春子見つめあう。

二人、パッと手を離す。

二人、ソーシャルディスタンスになる。

**春子** わたし、わたし……(めそめそ泣き出す)

**永吉** また泣くか？

**春子** わたし人生崖っぶちで……もう怖くて、人も、コロナも……。生きていくのがしんどい……  
どうしたらいいのか分かんなくて、ひとりで、この崖っぶちに……バカみたいですよね？ 崖っぶち状態で本当に崖っぶちに来ちゃうだなんて……(べそべそ泣く)

**永吉** (どうしていいのか分からず) おい……もう泣くなよ……

後ろで永吉に関わる女たちが永吉にエールを送る。

**多美子** 永吉！！

**ウイキ** 永ちゃん！！

**よしこ** (手を振りながら) 永吉さん！！！！

**永吉** アンタの！ アンタが！ アンタだけでなく！

この世界中が今ぶつかってる現実が、

どんなに大きな絶望でも、

どんなに深い悲しみでも、

ぜんぶぜんぶ、

俺がフッ飛ばしてやるぜ！！

間。

**春子** はい。はい、はい！ はい！！

永吉、春子の手を取る。

音楽が鳴っている。

**永吉** 行こう。

**春子** どこへ？

**永吉** アンタが行きたいところに。

**春子** 秘宝館ですか？

**永吉** (笑う) どこでもいいよ。

**春子** 行きましょう。

**永吉** ああ、行こう。

どこかへ進む二人。

その二人を見送るように他の出演者が一人、また一人とひとつの歌を歌い、旋律が重なる。

二人が進むロング&ワインディングロード。

その向こうに夕日が出てれば尚良し。

おしまい